

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメント・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	ベビーフンド メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マザーファンド メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 マザーファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ メキシコ債券オープン ＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）



第51期（決算日：2017年12月4日）  
第52期（決算日：2018年1月4日）  
第53期（決算日：2018年2月5日）  
第54期（決算日：2018年3月5日）  
第55期（決算日：2018年4月4日）  
第56期（決算日：2018年5月7日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）」は、去る5月7日に第56期の決算を行いましたので、法令に基づいて第51期～第56期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
27期(2015年12月4日)	9,107		45	△1.1		91.6	—	270	
28期(2016年1月4日)	8,634		45	△4.7		90.1	—	221	
29期(2016年2月4日)	8,200		45	△4.5		88.7	—	211	
30期(2016年3月4日)	8,040		45	△1.4		92.4	—	205	
31期(2016年4月4日)	8,182		45	2.3		89.5	—	179	
32期(2016年5月6日)	7,859		45	△3.4		90.0	—	163	
33期(2016年6月6日)	7,329		45	△6.2		92.7	—	152	
34期(2016年7月4日)	7,317		45	0.5		92.2	—	152	
35期(2016年8月4日)	7,092		45	△2.5		91.5	—	145	
36期(2016年9月5日)	7,341		45	4.1		92.0	—	151	
37期(2016年10月4日)	6,984		45	△4.3		94.3	—	137	
38期(2016年11月4日)	6,852		45	△1.2		89.8	—	132	
39期(2016年12月5日)	6,551		45	△3.7		87.1	—	124	
40期(2017年1月4日)	6,549		25	0.4		95.3	—	120	
41期(2017年2月6日)	6,451		25	△1.1		86.2	—	112	
42期(2017年3月6日)	6,858		25	6.7		84.1	—	114	
43期(2017年4月4日)	7,067		25	3.4		83.0	—	118	
44期(2017年5月8日)	7,091		25	0.7		90.3	—	119	
45期(2017年6月5日)	7,017		25	△0.7		90.0	—	118	
46期(2017年7月4日)	7,575		25	8.3		94.6	—	127	
47期(2017年8月4日)	7,492		25	△0.8		95.5	—	126	
48期(2017年9月4日)	7,518		25	0.7		93.1	—	127	
49期(2017年10月4日)	7,536		25	0.6		93.2	—	133	
50期(2017年11月6日)	7,154		25	△4.7		90.0	—	120	
51期(2017年12月4日)	7,238		25	1.5		92.7	—	117	
52期(2018年1月4日)	6,845		25	△5.1		93.6	—	111	
53期(2018年2月5日)	6,942		25	1.8		94.9	—	110	
54期(2018年3月5日)	6,579		25	△4.9		93.9	—	105	
55期(2018年4月4日)	6,920		25	5.6		94.3	—	110	
56期(2018年5月7日)	6,675		25	△3.2		91.4	—	106	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第51期	(期 首) 2017年11月6日	円 7,154		% —	% 90.0		% —
	11月末	7,236		1.1	92.4		—
	(期 末) 2017年12月4日	7,263		1.5	92.7		—
第52期	(期 首) 2017年12月4日	7,238		—	92.7		—
	12月末	6,759		△6.6	92.7		—
	(期 末) 2018年1月4日	6,870		△5.1	93.6		—
第53期	(期 首) 2018年1月4日	6,845		—	93.6		—
	1月末	6,823		△0.3	95.5		—
	(期 末) 2018年2月5日	6,967		1.8	94.9		—
第54期	(期 首) 2018年2月5日	6,942		—	94.9		—
	2月末	6,691		△3.6	93.7		—
	(期 末) 2018年3月5日	6,604		△4.9	93.9		—
第55期	(期 首) 2018年3月5日	6,579		—	93.9		—
	3月末	6,954		5.7	94.7		—
	(期 末) 2018年4月4日	6,945		5.6	94.3		—
第56期	(期 首) 2018年4月4日	6,920		—	94.3		—
	4月末	6,831		△1.3	92.0		—
	(期 末) 2018年5月7日	6,700		△3.2	91.4		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

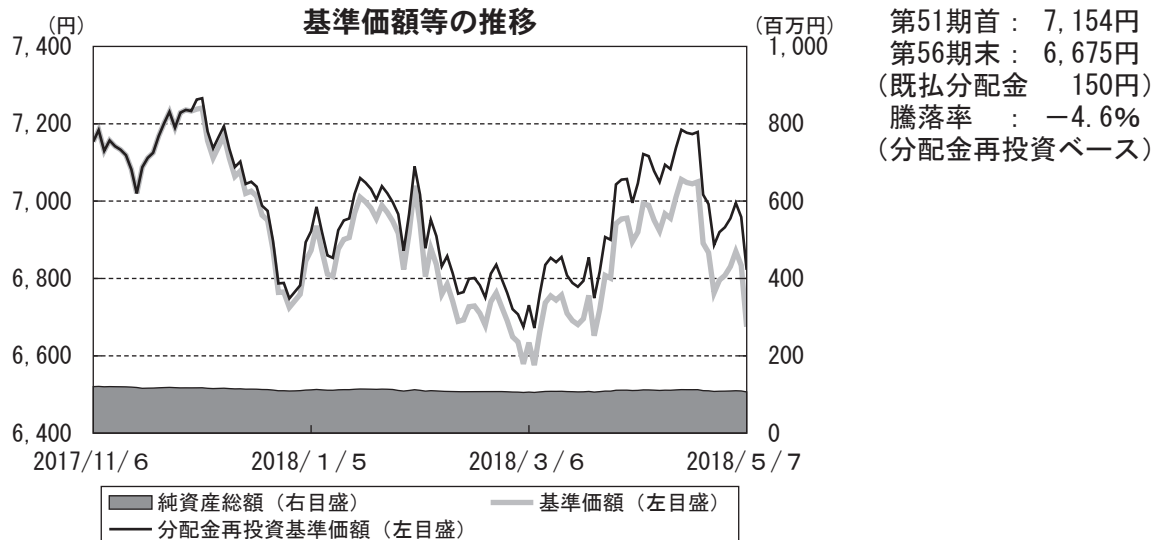
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第51期～第56期：2017/11/7～2018/5/7)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.6% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	メキシコ金利が上昇したことに加え、為替アクティブヘッジ戦略がマイナスに影響したことや、メキシコペソが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

(第51期～第56期：2017/11/7～2018/5/7)

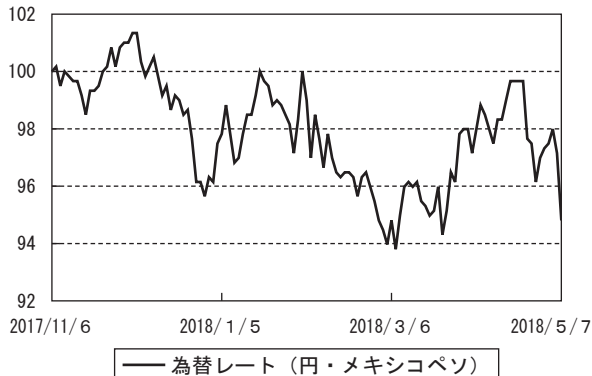


(注) 現地日付ベースで記載しております。

### ◎債券市況

- ・ 当作成期首から2018年2月中旬にかけては、メキシコの中央銀行が政策金利の引き上げを実施したことが影響し、10年債利回りで見るとメキシコ金利は上昇しました。
- ・ その後、3月下旬にかけては、2月の消費者物価指数の上昇率が市場予想を下回ったことや、北米自由貿易協定（NAFTA）に対する懸念が一時的に後退したことなどから、メキシコ金利は低下したものの、4月に入ると、7月に実施される大統領選挙に対する懸念が高まったことなどからメキシコ金利は上昇しました。
- ・ その結果、当作成期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

### 為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



### ◎為替市況

- ・ 当作成期首から2018年2月末にかけては、2月に世界的に株式市場が下落したことなどが影響し、メキシコペソは対円で下落基調で推移しました。
- ・ その後は、4月上旬にかけて、前述のNAFTAに対する懸念の後退などを背景にメキシコペソが対円で上昇する局面が見られたものの、大統領選挙に対する懸念が高まったことなどから、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・ その結果、当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

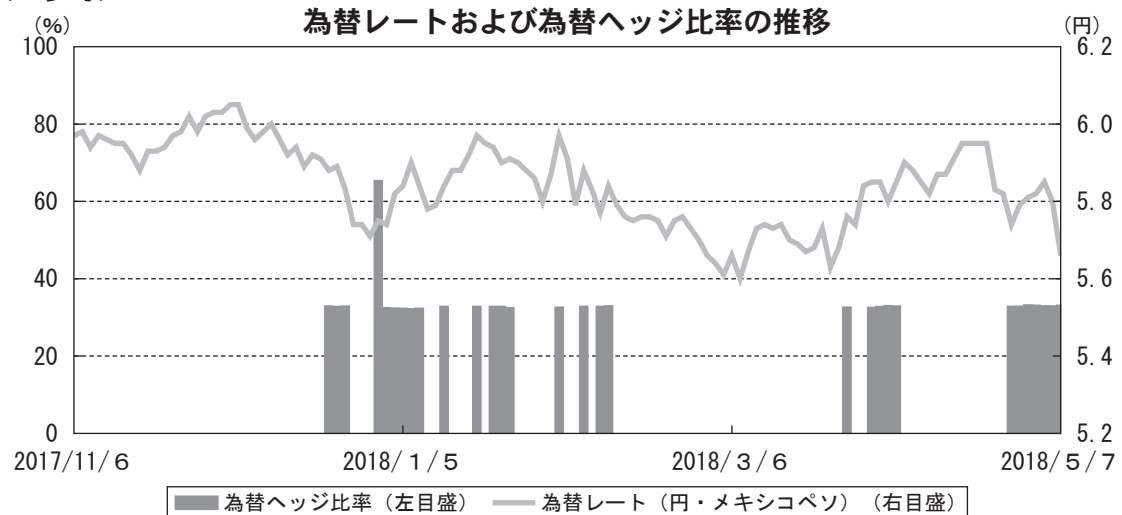
## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

## &lt;三菱UFJ メキシコ債券オープン&lt;為替アクティブヘッジ&gt; (毎月決算型) &gt;

- ・ 主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れるとともに、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整しました。
- ・ 主に2018年1月上旬に円安・メキシコペソ高が進行した局面では為替アクティブヘッジ戦略が基準価額上昇の抑制要因となった一方、5月上旬に円高・メキシコペソ安が進行した局面では当戦略が基準価額下落の抑制要因となりました。その結果、当作成期を通じて見ると、当戦略は為替ヘッジを実施しなかった場合と比べ、基準価額にマイナスに影響しました。
- ・ 債券利子収入を享受したことなどがプラスに寄与したものの、メキシコ金利が上昇したことに加え、為替アクティブヘッジ戦略やメキシコペソが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

(ご参考)



(注) 為替ヘッジ比率は、ファンドが保有するメキシコペソ建て資産（キャッシュ含む）に対する割合を簡便的に計算したものです。

## <メキシコ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ3.2%の下落となりました。

### ◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

### ◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

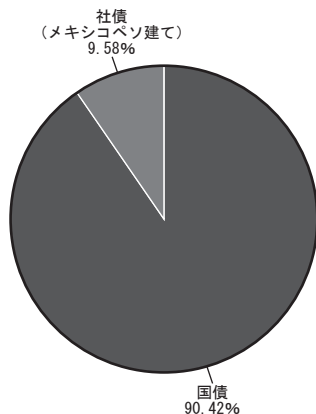
### ◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したことなどが基準価額にプラスに寄与したものの、メキシコ金利が上昇したことやメキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響しました。

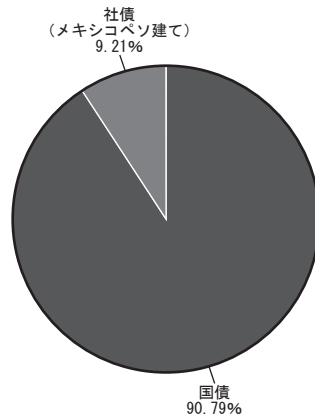
(ご参考)

### 種類別組入比率

2017年10月末



2018年4月末



(注) 比率は現物債券評価額に対する割合です。

(ご参考)

## 利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

2017年10月末

2018年4月末

最終利回り	7.43%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	7.43%
直接利回り	6.97%
デュレーション	5.41年



最終利回り	7.63%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	7.63%
直接利回り	7.37%
デュレーション	5.38年

- ・データはF I Lインベストメンツ・インターナショナルより提供された運用ポートフォリオベース (現地月末ベース) のものです。
  - ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
  - ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
  - ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
  - ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアムやコスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアムやコストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

## 債券の格付分布

作成期首 (2017年11月6日)

作成期末 (2018年5月7日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	91.9%	11
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	94.1%	10
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
- ・AAA格 (AAA、Aaa)
- ・AA格 (AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)
- ・A格 (A+、A、A-、A1、A2、A3)
- ・BBB格 (BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)
- ・BB格 (BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第51期	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期
	2017年11月7日~ 2017年12月4日	2017年12月5日~ 2018年1月4日	2018年1月5日~ 2018年2月5日	2018年2月6日~ 2018年3月5日	2018年3月6日~ 2018年4月4日	2018年4月5日~ 2018年5月7日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.344%	0.364%	0.359%	0.379%	0.360%	0.373%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	583	589	602	604	618	624

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型) >

#### ◎今後の運用方針

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用する方針です。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整します。

### <メキシコ債券マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・メキシコでは、インフレ率と為替市場の動向が金融政策の方向性を左右すると見ています。これまでの引き締めの金融政策の効果などからインフレ率は安定的に推移していくと考えています。為替市場では、中央銀行が通貨の安定を意識した金融政策を実施すると期待されるものの、米国の金融政策の動向やメキシコの大統領選挙を巡る不透明感などには注意が必要であると考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から魅力度が高いと思われる中長期ゾーンを嗜好して運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年11月7日～2018年5月7日)

項 目	第51期～第56期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(33)	(0.486)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(26)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.036	(b) その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.034)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	64	0.925	
作成期中の平均基準価額は、6,882円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年11月7日～2018年5月7日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第51期～第56期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 10,942	千円 10,640

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年11月7日～2018年5月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年5月7日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第50期末		第56期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
メキシコ債券マザーファンド			119,674		108,732	103,589

## ○投資信託財産の構成

(2018年5月7日現在)

項	目	第56期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
メキシコ債券マザーファンド		103,589	96.7
コール・ローン等、その他		3,576	3.3
投資信託財産総額		107,165	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,899,913千円) の投資信託財産総額 (1,902,867千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.95円	1 メキシコペソ=5.66円		
------------------	----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末
	2017年12月4日現在	2018年1月4日現在	2018年2月5日現在	2018年3月5日現在	2018年4月4日現在	2018年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	117,769,489	288,676,472	255,039,971	105,773,425	217,188,704	141,433,428
コール・ローン等	2,899,430	2,713,006	2,642,543	2,053,125	3,028,108	3,048,558
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	114,870,056	109,559,008	108,818,515	103,120,300	108,667,871	103,589,012
未収入金	—	176,404,458	143,578,913	600,000	105,492,725	34,795,858
未収利息	3	—	—	—	—	—
(B) 負債	565,311	177,338,193	144,235,640	546,006	106,589,158	34,843,533
未払金	—	176,761,805	143,662,215	—	106,032,560	34,267,664
未払収益分配金	404,830	406,660	399,023	399,849	399,551	399,202
未払信託報酬	160,082	169,297	173,962	145,788	156,649	176,224
未払利息	—	4	4	3	5	5
その他未払費用	399	427	436	366	393	438
(C) 純資産総額(A-B)	117,204,178	111,338,279	110,804,331	105,227,419	110,599,546	106,589,895
元本	161,932,184	162,664,024	159,609,569	159,939,636	159,820,594	159,681,037
次期繰越損益金	△ 44,728,006	△ 51,325,745	△ 48,805,238	△ 54,712,217	△ 49,221,048	△ 53,091,142
(D) 受益権総口数	161,932,184口	162,664,024口	159,609,569口	159,939,636口	159,820,594口	159,681,037口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,238円	6,845円	6,942円	6,579円	6,920円	6,675円

## ○損益の状況

項 目	第51期	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期
	2017年11月7日～ 2017年12月4日	2017年12月5日～ 2018年1月4日	2018年1月5日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年4月4日	2018年4月5日～ 2018年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 112	△ 105	△ 85	△ 70	△ 105	△ 148
受取利息	3	—	—	—	5	—
支払利息	△ 115	△ 105	△ 85	△ 70	△ 110	△ 148
(B) 有価証券売買損益	1,924,306	△ 5,791,081	2,127,799	△ 5,255,734	6,001,393	△ 3,335,766
売買益	1,988,185	1,149,961	7,783,652	2,324,833	7,057,795	2,072,308
売買損	△ 63,879	△ 6,941,042	△ 5,655,853	△ 7,580,567	△ 1,056,402	△ 5,408,074
(C) 信託報酬等	△ 160,481	△ 169,724	△ 174,398	△ 146,154	△ 157,042	△ 176,662
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,763,713	△ 5,960,910	1,953,316	△ 5,401,958	5,844,246	△ 3,512,576
(E) 前期繰越損益金	△ 36,866,011	△ 35,507,128	△ 40,960,830	△ 39,406,537	△ 45,047,724	△ 39,491,628
(F) 追加信託差損益金	△ 9,220,878	△ 9,451,047	△ 9,398,701	△ 9,503,873	△ 9,618,019	△ 9,687,736
(配当等相当額)	( 4,000,968)	( 4,045,552)	( 3,988,875)	( 4,010,539)	( 4,024,367)	( 4,033,693)
(売買損益相当額)	(△13,221,846)	(△13,496,599)	(△13,387,576)	(△13,514,412)	(△13,642,386)	(△13,721,429)
(G) 計(D+E+F)	△ 44,323,176	△ 50,919,085	△ 48,406,215	△ 54,312,368	△ 48,821,497	△ 52,691,940
(H) 収益分配金	△ 404,830	△ 406,660	△ 399,023	△ 399,849	△ 399,551	△ 399,202
次期繰越損益金(G+H)	△ 44,728,006	△ 51,325,745	△ 48,805,238	△ 54,712,217	△ 49,221,048	△ 53,091,142
追加信託差損益金	△ 9,220,878	△ 9,451,047	△ 9,398,701	△ 9,503,873	△ 9,618,019	△ 9,687,736
(配当等相当額)	( 4,002,853)	( 4,047,999)	( 3,990,634)	( 4,011,450)	( 4,025,850)	( 4,034,577)
(売買損益相当額)	(△13,223,731)	(△13,499,046)	(△13,389,335)	(△13,515,323)	(△13,643,869)	(△13,722,313)
分配準備積立金	5,445,781	5,546,497	5,633,871	5,662,257	5,855,931	5,942,428
繰越損益金	△ 40,952,909	△ 47,421,195	△ 45,040,408	△ 50,870,601	△ 45,458,960	△ 49,345,834

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 168,141,299円  
 作成期中追加設定元本額 2,932,247円  
 作成期中一部解約元本額 11,392,509円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6675円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は53,091,142円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2017年11月7日～ 2017年12月4日	2017年12月5日～ 2018年1月4日	2018年1月5日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年4月4日	2018年4月5日～ 2018年5月7日
費用控除後の配当等収益額	541,618円	507,376円	607,444円	428,235円	613,342円	502,172円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	4,002,853円	4,047,999円	3,990,634円	4,011,450円	4,025,850円	4,034,577円
分配準備積立金額	5,308,993円	5,445,781円	5,425,450円	5,633,871円	5,642,140円	5,839,458円
当ファンドの分配対象収益額	9,853,464円	10,001,156円	10,023,528円	10,073,556円	10,281,332円	10,376,207円
1万口当たり収益分配対象額	608円	614円	627円	629円	643円	649円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	404,830円	406,660円	399,023円	399,849円	399,551円	399,202円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額、および当ファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドの信託財産の純資産総額に対し年10,000分の19.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○分配金のお知らせ

	第51期	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期
1 万口当たり分配金 (税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お知らせ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)

(2018年1月1日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## メキシコ債券マザーファンド

### 《第10期》決算日2018年5月7日

〔計算期間：2017年11月7日～2018年5月7日〕

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月7日に第10期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I レイベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
6期(2016年5月6日)	9,502	△16.0	93.1	—	972
7期(2016年11月4日)	8,608	△9.4	94.4	—	769
8期(2017年5月8日)	9,472	10.0	91.6	—	2,508
9期(2017年11月6日)	9,847	4.0	91.9	—	2,116
10期(2018年5月7日)	9,527	△3.2	94.1	—	1,902

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
			円	騰落率			
	(期首)						
	2017年11月6日		9,847	—	91.9	—	—
	11月末		9,974	1.3	94.6	—	—
	12月末		9,333	△5.2	95.2	—	—
	2018年1月末		9,534	△3.2	97.8	—	—
	2月末		9,415	△4.4	95.4	—	—
	3月末		9,881	0.3	96.0	—	—
	4月末		9,793	△0.5	94.3	—	—
	(期末)						
	2018年5月7日		9,527	△3.2	94.1	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・期首から2018年2月中旬にかけては、メキシコの中央銀行が政策金利の引き上げを実施したことなどが影響し、10年債利回りで見るとメキシコ金利は上昇しました。
- ・その後、3月下旬にかけては、2月の消費者物価指数の上昇率が市場予想を下回ったことや、北米自由貿易協定（NAFTA）に対する懸念が一時的に後退したことなどから、メキシコ金利は低下したものの、4月に入ると、7月に実施される大統領選挙に対する懸念が高まったことなどからメキシコ金利は上昇しました。
- ・その結果、期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・期首から2018年2月末にかけては、2月に世界的に株式市場が下落したことなどが影響し、メキシコペソは対円で下落基調で推移しました。
- ・その後は、4月上旬にかけて、前述のNAFTAに対する懸念の後退などを背景にメキシコペソが対円で上昇する局面が見られたものの、大統領選挙に対する懸念が高まったことなどから、

メキシコペソは対円で下落しました。

- ・その結果、期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

### ●当該投資信託のポートフォリオについて

#### ◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

#### ◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えるメキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

#### ◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したことなどが基準価額にプラスに寄与したものの、メキシコ金利が上昇したことやメキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響しました。

### ○今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・メキシコでは、インフレ率と為替市場の動向が金融政策の方向性を左右すると見えています。これまでの引き締めの金融政策の効果などからインフレ率は安定的に推移していくと考えています。為替市場では、中央銀行が通貨の安定を意識した金融政策を実施すると期待されるものの、米国の金融政策の動向やメキシコの大統領選挙を巡る不透明感などには注意が必要であると考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から魅力度が高いと思われる中長期ゾーンを選好して運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年11月7日～2018年5月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 3 (3)	% 0.035 (0.035)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	3	0.035	
期中の平均基準価額は、9,655円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年11月7日～2018年5月7日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ
		国債証券	18,675	21,265
		社債券	1,807	3,548

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年11月7日～2018年5月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年5月7日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	322,300	316,293	1,790,220	94.1	—	69.7	24.4	—
合 計	322,300	316,293	1,790,220	94.1	—	69.7	24.4	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円			
	国債証券							
			10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	3,400	4,166	23,583	2036/11/20
			5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	49,500	44,355	251,054	2026/3/5
			6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	17,800	17,342	98,155	2021/6/10
			6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	43,800	42,352	239,717	2022/6/9
			7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	39,500	39,346	222,700	2027/6/3
			7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	46,600	47,013	266,098	2031/5/29
			8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	22,000	22,291	126,169	2020/6/11
			8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	37,000	37,950	214,802	2023/12/7
			8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	29,800	31,804	180,014	2029/5/31
	普通社債券		7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	32,900	29,668	167,924	2024/9/12
合 計							1,790,220	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2018年5月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,790,220	% 94.1
コール・ローン等、その他	112,647	5.9
投資信託財産総額	1,902,867	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,899,913千円)の投資信託財産総額(1,902,867千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.95円	1 メキシコペソ=5.66円	
------------------	----------------	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,902,867,560
コール・ローン等	68,040,629
公社債(評価額)	1,790,220,494
未収利息	44,292,071
前払費用	314,366
(B) 負債	5
未払利息	5
(C) 純資産総額(A-B)	1,902,867,555
元本	1,997,260,784
次期繰越損益金	△ 94,393,229
(D) 受益権総口数	1,997,260,784口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,527円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,149,593,587円  
 期中追加設定元本額 24,358,064円  
 期中一部解約元本額 176,690,867円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9527円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1,888,528,746円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	108,732,038円
合計	1,997,260,784円

## ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は94,393,229円です。

## ○損益の状況 (2017年11月7日～2018年5月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	68,842,587
受取利息	68,845,335
支払利息	△ 2,748
(B) 有価証券売買損益	△134,946,069
売買益	977,251
売買損	△135,923,320
(C) 保管費用等	△ 702,224
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 66,805,706
(E) 前期繰越損益金	△ 32,880,326
(F) 追加信託差損益金	△ 358,064
(G) 解約差損益金	5,650,867
(H) 計(D+E+F+G)	△ 94,393,229
次期繰越損益金(H)	△ 94,393,229

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)